

マジック・ボーイ (1982)

THE ESCAPE ARTIST

メディア 映画

ジャンル ファミリー サスペンス

製作国 アメリカ

時間 94分

初公開日 1982/08/14

公開情報 東宝東和

【解説】

ライアンの子でテイタムの弟、グリフィンの主演デビュー作。邦題からするとディズニー映画風のファンタジック・コメディを期待してしまうが、これはコッポラ製作のちょっと影のある、思春期の“通過儀礼”を題材通りにマジカルに描いた、あまりアメリカ映画の匂いのしない作品だ。姉以上にソバカスいっぱいグリフィン君演じる少年ダニーは、父譲りの奇術の神童で、プロを目指して祖母の家を飛び出し、やはり奇術を稼業にする叔父夫妻の居候となった。冷やかしに入ったマジック用品店で、横暴な振る舞いをする市長のドラ息子をかからなかったダニーは、彼のポケットから札でぎっчりの財布をくすねた。それは市長本人の物で、中の金はぜんぶ賄賂。事件の発覚を恐れた市長は息子に財布を血まなこで探させる。追い詰められたダニーは、警察署の独房から脱出する事を条件に、財布を市長のオフィスの金庫に戻すことにした。その独房こそ、彼の父、フーディニに継ぐ天才縄抜け師と言われたハリーマスターズが亡くなった場所なのだ。父は悪事に手を染め、脱獄を凶って悪辣な所長の手で射殺されたのだ。そこから逃げ出すことが言わば供養であるし、ダニーがマジシャンとして大きな一歩を踏み出す初戦でもあった。そして少年は、独房に父の幻影をみながら脱出に成功。市長の金庫に財布は戻したが、逆に秘密帳簿を盗み出した。これが発覚し、息子は狂ったように彼を追うのだが……。精神病院の入退院を繰り返しているという設定の息子（ジュリア）の存在は不明瞭で、ひねった回想話法もほとんど効果をあげていないが、その沈んだヨーロッパ的な色調が不思議と魅力的な、なかなかの小品。監督はフランスの撮影監督出身のデシャネルで、いかにもコッポラ好みの人選であった。同じくフランスの名作曲家ドルリユーの音楽が軽やかでいい。

【クレジット】

監督	キャレブ・デシャネル	Caleb Deschanel	
製作	ダグ・クレイボーン	Doug Claybourne	
	バック・ホートン	Buck Houghton	
製作総指揮	フランシス・フォード・コッポラ	Francis Ford Coppola	
	フレッド・ルース	Fred Roos	
原作	デヴィッド・ワゴナー	David Wagoner	
脚本	メリッサ・マシスン	Melissa Mathison	
	スティーヴン・ジトー	Stephen Zito	
撮影	スティーヴン・H・ブラム	Stephen H. Burum	
編集	アーサー・シュミット	Arthur Schmidt	
音楽	ジョルジュ・ドルリユー	Georges Delerue	
出演	グリフィン・オニール	Griffin O'Neal	ダニー・マスターズ
	ラウル・ジュリア	Raul Julia	スチュー
	テリー・ガー	Teri Garr	アーレン
	ジョーン・ハケット	Joan Hackett	シビルおばさん

ガブリエル・デル	Gabriel Dell	バークおじさん
エリザベス・デイリー	Elizabeth Daily	サンドラ
デジ・アーナズ	Desi Arnaz	市長
ジョン・P・ライアン	John P. Ryan	ヴァーノン
ジャッキー・クーガン	Jackie Coogan	マジックショップのオーナー
M・エメット・ウォルシュ	M. Emmet Walsh	フリッツ
デヴィッド・クレノン	David Glennon	
ハリー・アンダーソン	Harry Anderson	
カーリン・グリッ	Carlin Glynn	
マーガレット・ラッド	Margaret Ladd	
エリシャ・クック・J r	Elisha Cook Jr.	